

I. 次の楽譜はシューベルト作曲、弦楽四重奏曲第12番の一部分である。下記の問いに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④の転回音程になるように、下の楽譜の上に全音符を書きなさい。なお、転回音程については、複音程は単音程に直して答えること。

〈音程〉(3点×8=24点)

①	減5度	②	長2度	③	減6度	④	完全4度
⑤	完全12度 1オクターブと完全5度	⑥	増5度	⑦	長7度	⑧	短3度

〈転回音程〉(3点×4=12点)

2. 次の(a)(b)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(2点×2=4点)

(a) ⑦を属音とする和声短音階

(b) ①を導音とする長音階

3. 次の(c)(d)で示される音階を、調号を用いず右の五線に主音から上行形で書きなさい。旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。(3点×2=6点)

(c) ②をト属音とする旋律短音階

(d) ②の異なる同名音を属音とする短調の第III音を主音とする長音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい。

1. (1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。(2点×10=20点)

- (1) 種類 属七の和音 転回形 基本形 (2) 種類 減三和音 転回形 第1転回形
 (3) 種類 長三和音 転回形 基本形 (4) 種類 減七の和音 転回形 第1転回形
 (5) 種類 短三和音 転回形 第1転回形

2. 次の文中の《 》に関係調の名称を、[]に調名を、{ }に和音の種類を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。(a～c: 2点×4=8点、d: 1点×7=7点)

- a. (3)を下属和音とする調の同主調の《 平行調 》はロ長調である。
 b. (2)と(5)を同時に含む長調の平行調は[嬰へ短調]である。
 c. (1)の和音を根音を属音とする短調の属調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調((1)の和音を根音を属音とする短調の属調)を平行調とする調は[ニ長調]である。

- d. 自然短音階の音階上にできる三和音の種類をそれぞれ答えなさい。
 I { 短三和音 } II { 減三和音 } III { 長三和音 } IV { 短三和音 }
 V { 短三和音 } VI { 長三和音 } VII { 長三和音 }

III. 次の楽語の意味を右から1つずつ選び、その番号を書きなさい。(1点×7=7点)

con sordino	10	意味:	1. 遅く	8. 急速に
Presto	8		2. 1弦で	9. 次第に遅くするとともに強く
capriccioso	6		3. ただちに遅く	10. 弱音器を使用して
largando	9		4. 同様に	11. 静かに
tranquillo	11		5. 楽しく	12. 重々しく
simile	4		6. 気まぐれに	13. すぐに
spirituoso	14		7. 神秘的に	14. 生き生きと

IV. 次の旋律ABの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調していきます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。(2点×6=12点)

A

B

C Andantino

- A 変ロ短調 _____ B ニ長調 _____
 C (い) ニ長調 _____ (ろ) ロ短調 _____
 (は) ト長調 _____ (に) ホ短調 _____